

タチチョウチンゴケ*Orthomnion dilatatum* (Mitt.) Chenチョウチンゴケ科
Mniaceae**カテゴリー**大分県 情報不足
環境庁 I

選定理由

県内分布 (耶馬溪地区)

分布域 本州, 四国, 九州
中国, 台湾, マレー半島, フィリピン, スマトラ, ボルネオ, インド, スリランカ, ヒマラヤ

生育環境

現 状 本県では過去に「耶馬溪地区」での採集標本はあるが、近年その生育状態は確認されていない。

イブキキンモウゴケ*Ulotia perbreviseta* Dix. et Sak.タチヒダゴケ科
Orthotrichaceae**カテゴリー**大分県 準
環境庁 II

選定理由 本州中部地方以西から九州に分布する。本県では生育地が希である。自然災害や植生遷移などによる生育状態の悪化が懸念される。

県内分布 由布・鶴見火山群

分布域 本州(中部地方以西), 四国, 九州
朝鮮半島

生育環境 山地の尾根部や山頂域の灌木の枝。

現 状 ノリウツギなどに着生するため、その植生遷移により減少している。

ホゴケ*Rhacopilum aristatum* Mitt.ホゴケ科
Rhacopilaceae**カテゴリー**大分県 II
環境庁 掲載なし

選定理由 本州中部地方以西から沖縄、小笠原に分布する。本県での生育地は少ない。台風や集中豪雨など自然災害による生育状態の悪化が懸念される。

県内分布 豊後水道域、石灰岩地域

分布域 本州(中部地方以西), 四国, 九州, 沖縄, 小笠原
台湾, 中国, フィリピン

生育環境 やや湿り気のある石灰岩や石灰質土壌。

現 状 沿海地の林縁や石灰岩地の谷部に生育しているが、生育環境が不安定である。